

令和7年度 金山町総合教育会議

日 時 令和7年12月17日(木) 10:00～

場 所 開発センター 1階会議室

1 開 会

2 あいさつ 町 長 押 部 源二郎
 教育長 押 部 秀 隆

3 議事録署名人選出

4 議 事

(1) 金山町教育大綱(案)について

(2) 学校教育について

① 全国学力・学習状況調査

② ふくしま学力・学習状況調査

③ リーディングスキルテスト

④ 学力の向上に向けての改善策

⑤ その他の取り組み

(3) 川口高校・若桐寮・学校寮の運営について

① 令和7年度の在籍生徒状況

② 教育委員会・中学校訪問

③ 体験入学関係

④ 若桐寮と学校寮の実態

(4) 文化財保護関係について

① 文化財調査事業

② 地域おこし協力隊の活動状況

(5) その他

5 その他

6 閉 会

金山町教育大綱(案)

「自然と共生し郷土を愛するひとづくり」を目指して

令和8年3月

金山町教育委員会

1 基礎学力と地域に根ざした学校教育の充実

現状と課題

金山町の宝である美しく豊かな自然、住民同士が支え合う風土などを将来へとつなげていくためには、町に住む一人一人が郷土を愛する心を持つことが大切であり、それがシビックプライドの醸成にもつながります。

特に、将来を担う貴重な人材である子どもたちが、町の良さを知り、誇りを持つためには、学校と家庭、地域が連携して子育てを推進していくことが重要になります。また、生涯にわたって健全な心身を培い豊かな人間性を育むために、食に関する知識と選択する力を習得し、健全な食生活を実践できるような人を育てる事が大切です。

令和7年度には金山小学校と横田小学校が統合し「かねやま小学校」が開校しましたが、小中学校の児童生徒数の減少は続いています。その中、本町では子育て・就学支援として「奥会津金山学びの18年」を実施しており、幼少期から18歳までの子どもたちの成長を支援しています。小中学校の児童生徒については、給食費や教材費などを無料としており、川口高等学校に通う生徒についても、教育活動への補助など様々な支援を行っています。

教育内容については、ICTのメリットを活かした教育を進めるとともに、複式学級による少人数教育の強みを生かしながら学校・家庭・地域が連携して児童生徒一人一人に合ったきめ細かな教育を実施しています。また、学校施設については、地球温暖化により年々厳しさを増す暑さ対策として各教室に空調設備を設置し、子どもたちが集中して快適に学習できる環境の整備を行ってきました。今後は体育館にエアコンを設置することについて、子どもたちはもとより、災害時の避難所として住民の安全安心にも寄与できるように整備の検討を進めていきます。

今後も、デジタルを活用し学校外での交流や学びの機会を積極的に作り出し、いくなど、小規模校の課題を解消しながら、金山町ならではの教育の充実をより一層進めていく必要があります。

主要施策

(1)リーディングスキル向上による基礎学力の育成

児童生徒が将来にわたって豊かな人生を送るため、多様化・複雑化する社会に適応できる思考力・判断力・表現力を高めます。そのために、教師の授業力を高め、学び考える力の基礎となる学校の授業の充実を図るとともに、多様な学習機会の充実を図ります。

(2)ICT活用の深化と国際理解教育の推進

GIGAスクール構想実現に向け、生徒へのタブレット端末を配備や授業等での活用を引き続き支援します。ICT 支援員のさらなる活用により教師の指導体制の強化を図ります。

また、ALT(外国語指導助手)の活用や英語学習施設への宿泊体験などを通じて、国際理解教育の充実を図ります。

(3)健康な体の育成

子どもの体力向上と健康増進を図るため、授業や部活動の充実はもとより、専門家による指導や町内スキー場の利用促進などに取組みます。また、近年の気候変動も考慮し、夏季でも快適に運動できる環境づくりを進めます。

(4)シビックプライドの醸成

豊かな自然や地域の歴史・資源・まちの課題を学ぶことで、自分が育った地域に対する理解と愛着を深めるとともに、郷土を担う心豊かなひとづくりを推進します。あわせて、学校と地域が連携した学ぶ機会のさらなる充実を図ります。

(5)家庭への支援

子育て世代の経済的負担を軽減するため、小中学校の給食費・教材費・入学準備金時学用品及び運動着費・修学旅行費の無料化を継続します。あわせて、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーなどと連携し、子どもの悩みや不安を受け止め、問題解決の支援を行います。

(6)県立川口高等学校への支援

県立川口高等学校は町にとって重要な学校であり、町は学校の魅力向上と生徒確保の一環として、地域みらい留学事業に取り組んでいます。今後も県内外の多様な地域からの入学者希望者が増え、卒業後に町に残る・戻る機運を醸成する取り組みを進めます。

また、川口高校には管外や県外からの生徒も多く在籍していることから、学生寮

の運営・支援を行っていくとともに、学生の通学費補助、資格取得事業の支援などを継続していきます。

成果指標

指標名	単位	令和7年度 (実績)	令和12年度 (目標)
住民満足度 「小・中学校」	%	45.2	50.0
住民満足度 「奥会津金山学びの 18年」	%	52.5	70.0
専門家による スポーツ指導	種目	2	3

2 生涯にわたる学びと交流機会の充実

現状と課題

いわゆる「人生100年時代」を迎え、日本は健康寿命が世界一の長寿社会となりました。「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へと価値観が変わる中、社会生活環境は複雑化し、人それぞれ様々なかたちで人生を送るようになっていきます。この傾向は町においても同様であり、生涯にわたりそれぞれのライフステージに合わせて知識や能力を身につけることができる学習の機会が求められるようになりました。長い人生の中で、生涯学習を通じて「生きがい」の発見につながることを期待されています。

町は、少子化や現役世代の減少により地域の様々な場面で担い手が不足し、地域社会全体の教育力低下が懸念されています。生涯学習の現場においても、学びを推進する担い手や参加者の減少により、今までどおりのやり方で講座等を行うことが難しくなっています。このため、地域で活躍するリーダーの育成や住民の地域活動への参加促進が、従来にもまして必要となっています。

少子化や核家族化は、家庭の教育力の低下にもつながります。そのため学校、家庭及び地域が連携して子どもを育てる仕組みづくりを今まで以上に進めるとともに、「親の学び」を支援しながら子育てしやすい環境をつくっていくことが重要です。

一方で、情報通信技術（ICT）の飛躍的な発展は住民の日常生活に大きな変化をもたらしており、今後もこの傾向はますます強くなるものと予想されます。ICTの活用は移動の手間がなく場所を選ばずに学べるというメリットがあり、これまで生涯学習に接点の薄かった若い世代にとっては新たな参加の機会となることが期待されます。その反面、高齢者の中にはインターネットの環境がない、または使い方がわからないという方も多く、ICTのメリットを享受していくうえでその環境整備や技術的な支援が大きな課題となっています。

また、近年は地震や大雨をはじめとする自然災害、新型コロナウイルスなどの感染症、交通事故やインターネット犯罪の増加など、様々な分野において安全・安心に対する関心が高まっています。あわせて、自然災害が頻発化・激甚化していることから、防災・減災への備えと正確な情報の確保・発信とともに、命を守

る防災教育の推進や防災意識を高めていくことが極めて重要になっています。

主要施策

(1)ライフステージに応じた学びの支援

幼児期、青少年期、成人期及び高齢期と、人生それぞれのステージにおいて様々な背景を有するすべての人々が学びたいときに学ぶことができるよう、多様な学習ニーズに対応した学習機会の提供と環境の整備を図ります。

(2)多様な学習機会の充実と支援

多様化する町民の学習ニーズに対して、講座形式など集団型学習方式にとらわれず、個別あるいは少人数で行う学習活動も支援していきます。様々な情報の収集と提供に努め、ICTを活用した学習など多様な学習機会の充実を図ります。そのため、町民すべてがICTによる恩恵を享受できるような環境整備に努めるとともに、ICTのメリットを最大限にいかした取組みを進めます。

また、命を守る防災教育の推進を図るため、町民一人一人が「自らの命は自らが守る」意識をもてるように、防災出前講座や地域の防災組織の人財育成などを進めます。

(3)各種団体支援とリーダー育成

生涯学習を推進するためには、それに関わる行政や民間団体や個人の質の向上と指導者の確保・養成が必要なことから、スポーツ指導者や社会教育指導員の育成などを引き続き実施し、各種団体への支援と地域のリーダーの育成に努めます。

(4)生涯学習施設の充実と既存施設の利活用

町内には生涯学習施設として、公民館などの社会教育施設、体育館などの社会体育施設、小学校・中学校といった学校教育施設のほか、老人福祉センターや自然教育村会館などの施設があります。各施設間相互の連携を図り、効果的な利活用ができるよう取組みを進めます。

また、社会の変化により町民のニーズに合わなくなった施設があれば、新たな利活用や用途変更、廃止について検討していきます。

(5)町民の文化団体・活動支援

町の文化活動は、文化協会を中心として行われ、生きがいつくりや地域社会

で活躍できる機会を創出していますが、高齢化や後継者不足により、今までどおりの活動を今後も継続していくことは難しくなると考えられますが、文化協会に対する支援を継続するとともに、新たな取組みを模索していきます。

成果指標

指標名	単位	令和7年度 (実績)	令和12年度 (目標)
休日や自分の時間が充実していると感じるか	%	51.9	60.0
住民満足度 「生涯学習」	%	39.1	50.0
教室・講座参加者数	人	221	250

3 多様なスポーツ活動と健康づくりの推進

現状と課題

生涯にわたりスポーツに親しむことは、健康の増進につながるだけでなく、町民の「生きがい」を生み出します。

現在、本町のスポーツ活動は高校生まではスポーツ少年団、大人はスポーツ協会が中心となって各種活動を行っているほか、公民館事業などでもスポーツ大会を実施しています。

しかし、多くの競技においては参加者の減少や固定化が課題となっており、競技によっては活動休止、町内大会の中止が発生しているという現状があります。この傾向は今後も続くものであり、将来的にスポーツ活動自体が困難になってくることが想定されます。今後は、参加者を積極的に募っていくとともに、各競技の実態に合わせて活動内容を整理・検討していくことが求められます。

また、より多くの人にスポーツに親しんでもらうために、従来の競技スポーツだけでなく、「レクリエーションスポーツ」や「ニュースポーツ」といった、勝敗を競うだけでなく、健康増進や仲間づくり、コミュニケーションの促進などを目的とした、体力に自信の無い方でも楽しめるスポーツを推進していくことも重要になります。

スポーツ施設については、老朽化が進んでいるものが多く、計画的に修繕・改修を行う必要があります。また、施設の利活用状況を整理し、必要性についての検討を進めていくことも課題となります。

主要施策

(1) スポーツを通じた健康の増進と生きがいづくりの推進

スポーツ協会やスポーツ少年団などと連携し、各種スポーツ大会・教室の開催をはじめ、スポーツに親しみ、活動する機会の提供を図ります。

また、新たなスポーツに対する需要についても、十分な活動ができるように適切な支援・協力を行っていきます。

(2) スポーツ団体への活動支援と指導者育成と支援

地域のスポーツ振興の核となるスポーツ団体やスポーツ少年団が十分な活動

ができるように、今後も各種支援を実施していきます。

また、多様化する住民のスポーツニーズに対応するため、適切な提案・指導・助言を行えるスポーツ推進員などの人材を育成していきます。

(3)施設の維持修繕と利用促進及び必要性の検討

各スポーツ施設の老朽化への対応や安全性の確保・有効利用のため、必要な修繕や改修を計画的に進めていきます。

また、各施設の利活用状況を整理し、今後の必要性について検討していくとともに、今までスポーツと疎遠だった人でも気軽にスポーツに親しんでもらうために、競技スポーツの他にも、健康増進や仲間づくり、コミュニケーション促進などを目的としたスポーツの推進を図っていきます。

成果指標

指標名	単位	令和7年度 (実績)	令和12年度 (目標)
住民満足度 「スポーツ」	%	33.9	40.0
スポーツ協会会員数	人	358	350
グラウンド・ゴルフ場 利用者数	人	1,389	1,450
スポーツ教室参加者数	人	133	150

4 伝統文化・歴史資源の継承と活用

現状と課題

文化や歴史は、人と人とをつなぎ、地域間の新たな連携へと導いてゆくよりどころとなるものです。町の未来を構想するためには、地域が培ってきた文化・歴史・風土を離れてそのあり方を探ることはできません。

町は現在、奥会津7町村による連携事業「奥会津ミュージアム」の一員として、奥会津地域の「暮らしと生業の場を、あるがままに生きられた博物館に見立てるエコ・ミュージアム」活動の実践に参加しています。この活動の出発点になるのは、今まで見過ごされがちだったこの地域の文化・歴史・風土を新たに発見することであり、そのことを踏まえて、金山町内エコ・ミュージアム活動の拠点整備を進める必要があります。

町の歴史は、町内遺跡から発掘された土器によって4,000年の昔まで遡ることが確認されています。それらの土器をつくった技は、文化的な連続性によって現代の民具へとつながるものであり、地域のアイデンティティの核となるものです。こうしたものづくりの歴史は将来へと受け継がれるべきものであり、伝統文化の継承を考えると、100年単位で考えるのではなく、はるかに長い時間の広がり意識する必要があります。

様々な課題に直面している金山町にあって、伝統文化の継承という課題は、持続可能なまちづくりという課題とあわせて重要な課題であり、その意義を見失わないことが今、求められています。

主要施策

(1)文化財の保存と一体的な管理体制の整備

町に多く残る文化財を適切に保存するため、学芸員など専門的な知識を有する人材を確保し、文化財調査委員や各地区文化財保護管理者の方々と連携し、各種調査を実施するとともに、後世に引き継ぐ史跡や文化財を一元的に保護・保管・整理することを検討します。

(2)伝統芸能・技術の次世代への継承

過去から現在へと続いてきた貴重な伝統芸能・技術を未来へとつなげていくた

めに、町内の芸能・技術にかかる資料を適切に収集、保存及びデジタル化し、見て・触れて・体験して、楽しみながら郷土を学べる機会を作り、郷土愛の充実に努めます。

(3)文化資源の活用と発信

優れた文化資源に触れそれを学ぶことは、住民の生活を精神的に豊かにするものであり、その重要性は高いものがあるため、誰もが身近に文化資源に触れる機会をつくり、文化資源の普及に努めます。そのために、他市町村の文化団体との交流・連携の機会を創出し、新たな文化資源の活用に努めます。

また、地域資源としての文化資源に光をあてることによって観光交流につなげるなど、交流人口拡大の面からも文化資源の活用と発信を行います。

(4)遊休施設等を活用した文化拠点整備

町内各所に分散している歴史・文化に関わる資料を適切に収集・保存し、次世代へと継承していくため、適切な保存・管理体制づくりを進めます。

あわせて、遊休施設等を活用した文化資源の保管についても検討し、貴重な資料等が良い状態で後世に残される取組みを行います。

成果指標

指標名	単位	令和7年度 (実績)	令和12年度 (目標)
住民満足度 「文化財の保存・活用」	%	22.8	50.0
町文化祭来場者	人		350
ものづくり講座(また たび)10年以上参加者	人		15

教育委員会の現状と課題について

2 学校教育について

(別紙資料1)

- (1) 全国学力・学習状況調査(対象者:小学校6年生・中学校3年生)
- (2) ふくしま学力・学習状況調査 (対象者:小学校4, 5, 6年生 14人 ・中学校1, 2年生 8人)
- (3) リーディングスキルテスト

(4) 学力向上に向けての改善策

① 児童・生徒の学力向上には、教師の指導力の向上が大切である。

○ 教師に対する講演会や授業改善

☆リーディングスキルの取り組みについて

・講演者:三島小学校教頭 井上雄樹(リーディングスキルについて研究熱心な実践家)

☆授業改善について

- ・算数科の授業 10月16日(木) かねやま小 5年 指導者:会津教育事務所 塚原指導主事
- ・音楽科の授業 11月6日(木) かねやま小 2年 指導者:会津教育事務所 松井指導主事
- ・数学科の授業 11月26日(水) 金山中 1年 指導者:会津教育事務所 松井指導主事
- ・道徳科の授業 11月26日(水) 金山中 3年 指導者:会津教育事務所 松井指導主事
- ・道徳科の授業 12月4日(木) かねやま小 1年 指導者:会津教育事務所 松井指導主事

○ 生徒に対する講演会(児童・生徒のやる気を育成する。)

・講演者:的場亮 キャリア教育の内容で「一瞬の感動を人生のきっかけに」

○ 小学校、中学校教師の校外研修一覧

- ・鴻巣市教育研究実践発表大会(鴻巣市立赤見台第一小学校)
- ・西会津小・中学校合同公開授業研究会(西会津小学校)
- ・猪苗代町学力向上推進事業(猪苗代小学校・猪苗代中学校)
- ・RST 活用研究推進校公開研究会(相馬市立飯豊小学校)
- ・芳山教育研究会(郡山市立芳山小学校)
- ・教員のための博物館の日(ムシテックワールド)
- ・教師の発問が高まる中学校道徳科講座(教育センター)

② 授業改善の主なポイント

○ 教師が「話す」授業から、教師が「みる」「きく」「つなぐ」授業へ

〈学び出す〉・・・「確かめたい」「考えたい」「やってみたい」

・課題解決に見通しをもったり、解決方法を選択したりして、自ら動き出そうとする授業。

〈学び合う〉・・・「話したい」「聞きたい」「話し合いたい」

・友だちの話に耳を傾け、自分の考えを確かめたり、新たにしたり、磨き上げたりする授業。

〈学びとる〉・・・「分かった」「できた」「がんばった」

・今日の授業で「自分が何がわかり、何ができるようになったのか」を時間でさる授業。

(5) その他の取り組み

① ふるさと教育・地域連携学習

(別紙資料2)

- 今年度は小学校の体験活動をベースに、次年度ブラッシュアップして中学校の活動に繋げる。

② 英語教育の充実・・・ブリティッシュヒルズ宿泊体験学習(6/24～25)

(目的) ○ 英語の興味関心を高め、英語力の実践的な向上、異文化理解など。

(実践内容) ○ テーブルマナーやファンウィズディレクションなど4項目を選択する。

(生徒の感想)

- スタッフと交流することで、日本とは違う文化を感じることができたり、マナーハウスにいるときは、本当のイギリスにいる気分になった。
- 今回の体験から、どの場面でも自信をもって英語を話したいと思った。また、実際に外国に行ってみたいと強く思った。
- 今の自分の英語能力を知ることができた。
- 英語の勉強を頑張って、ブリティッシュヒルズにいた日本人のスタッフのようにスムーズに英語を活かせるようになりたい。

(今後の方針)

- ブリティッシュヒルズ体験学習と宿泊学習を1年おきに実施して、英語に対する興味関心の向上と公衆道徳や集団生活に必要なモラルや社会性を養う。今年度は、ブリティッシュヒルズ体験学習を実施したが次年度は宿泊学習を実施する。

③ 次年度の町講師と支援員

○ 小学校

- ・1.2年生単学級、3.4年生、5.6年生は複式学級。
- ・本年度の町講師5名(フルタイム2名、パートタイム3名)、支援員4名(パートタイム)。

○ 中学校

- ・3年生は0人のため、1.2年生だけの学級で、全校生は9名。
- ・本年度の町講師1名(パートタイム)、主事1名(パートタイム)。

3 川口高校・若桐寮・学校寮の運営について

(1) 令和7年度の在籍生徒状況(11月28日現在)

○各学年の人数

第1学年 27名(男子16名 女子11名) 第2学年 27名(男子17名 女子10名)
第3学年 21名(男子11名 女子10名) 【合計】75名(男子44名 女子31名)

○出身地

会津 30名 会津地区以外県内 18名
県外 27名【内訳】青森県1名 宮城県2名 秋田県1名 茨城県3名 埼玉県9名 千葉県3名
東京都1名 神奈川県1名 新潟県3名 岐阜県1名 大阪府2名

(2) 教育委員会、中学校の訪問について

	令和6年度	令和7年度
訪問教育委員会数	11教育委員会	18教育委員会
訪問中学校数	37中学校	48中学校
その他(案内送付)		14教育委員会・24中学校

(3) 体験入学関係

① 参加人数と内訳

	令和6年度	令和7年度
参加人数	39人	33人
内訳 会津	17人	17人
会津以外県内	9人	10人
県外	13人	6人

② 今年度の特徴と課題

- ・会津地区からの参加人数が多い。また、南会津地区からの参加者もいる。
- ・体験入学には参加しなかったが、後日寮や学校見学に数名来ている。
- ・今年度の県外の参加者が少ないのは、在籍生徒数が多くなり小規模高校でなくなった。
- ・入学した生徒が途中で進路変更をする人数が多い。

(4)若桐寮と学校寮の実態

1 若桐寮の収容可能人数

男子 13室（緊急用2部屋）

※使用可能部屋11室 ※収容可能人数22人

女子 13室（緊急用2部屋）

※使用可能部屋11室 ※収容可能人数22人

4 学校寮の収容可能人数

男子9室（緊急用2部屋）

※使用可能部屋7室 ※収容可能人数14人

男子9室（緊急用2部屋）

※使用可能部屋7室 ※収容可能人数14人

2 令和7年度 若桐寮の生徒数

	男 子	女 子	計
1年	7	5	12
2年	6	7	13
3年	7	4	11
計	20	16	36
残生徒人数	2	6	8

5 令和7年度 学校寮の生徒数

	男 子	女 子	計
1年	8	3	11
2年	6	3	9
3年	2	2	4
計	16	8	24
残生徒人数	-2	6	4

	男 子	女 子	計
会津	1	6	7
県内(会津以外)	7	3	10
青森県	1		1
宮城県		2	2
茨城県	1	1	2
埼玉県	5	2	7
千葉県	2		2
新潟県	2		2
東京都		1	1
神奈川県		1	1
愛知県	1		1
入寮者地区別人数	20	16	36

	男 子	女 子	計
会津	6	2	8
県内(会津以外)	3	5	8
秋田県	1		1
宮城県	1		1
茨城県	1		1
埼玉県	2		2
千葉県	1		1
新潟県	1		1
大阪府		1	1
入寮者地区別人数	16	8	24

3 令和8年度 若桐寮の2.3年生の生徒数

	男 子	女 子	計
1年			0
2年	7	5	12
3年	6	7	13
計	13	12	25
残生徒人数	9	10	19

6 令和8年度 学校寮の2.3年生の生徒数

	男 子	女 子	計
1年			0
2年	8	3	11
3年	6	3	9
計	14	6	20
残生徒人数	0	8	8

7 寮の実態と今後について

- 若桐寮と学校寮の収容人数に限りがあり、次年度は男子生徒9名・女子生徒は18名の収容人数である。

4 社会教育・文化財保護関係について

- ① 文化財調査事業（P16）
- ② 地域おこし協力隊活動状況（P17）

金山町文化財保存活用指導員について

※長島雄一先生 柳津町文化財専門アドバイザー 元川口高校校長

R5～奥会津文化施設連携企画展「奥会津の縄文」をきっかけに金山町の土器整理の必要性について話にいられていた。

※会津地方で史跡名勝天然記念物、国宝等を含むと国指定のない市町村は金山町のみと「福島考古」に記載がある。

R6.8 長島先生から土器整理に必要な物品などが具体的に示され、次年度予算について話し合う。

R6.9 立柳聡さんから周東一也さんの遺品の中に宮崎遺跡からの出土品が多くあると連絡が入る。

・このことも遺物整理をお願いする後押しになった。

※周東一也さん 宮崎遺跡発掘者。「岩代国宮崎遺跡」著者

※立柳聡さん 県立医大教員 周東さんの弟子

R7.1 本名係長が長野県駒ヶ根市に宮崎遺跡の出土品を取りに行った。

R7.3 長島先生半日のみの簡単な調査を行った。

R7.4 「金山町文化財保存活用指導員」として活動が始まる。

R7.7 長島先生から福島県指定文化財の指定を受けられる価値がある、と報告があった。

R7.8 旧横田中から宮崎遺跡出土品を旧横田小学校に運搬。

※エアコンがあるので真夏も作業ができるため。

R7.11 令和8年度福島県指定文化財指定候補に手をあげた。

現在の旧横田小学校の様子



地域おこし協力隊について

花野千尋 新潟大学大学院現代社会文化研究科社会文化専攻修了
2023 年 3 月 学芸員の資格取得
2025 年 4 月 金山町地域おこし協力隊に任命される

〈主な活動〉

○弥平民具について

- ・台帳と展示品の紐付け（現況の把握と台帳未記載物、展示品の有無など）
- ・展示品の整理整頓
- ・展示品の劣化軽減対策（遮光、配置換えなど） など

○旧五十島家住宅について

- ・週 1 回程度のくん蒸
- ・屋内の清掃 など

○その他

- ・奥会津 7 町村文化施設間連携事業 企画展「奥会津の川」金山町会場の展示作成
- ・弥平民具ワークショップ 民具についての説明
- ・これなんだ？わからない民具を囲む会 2 in 金山町 2025 進行役
- ・金山町文化祭 民具の展示
- ・解体家屋からの民具、古文書回収 など

令和7年度 かねやま小学校体験活動関係一覧

月日	活動名称	1.2年	3.4年	5.6年	該当学年	活用時間	内容等
4月	1年生を迎える会	○	○	○	全学年	児童会	5.6年生中心 1時間
	稲作活動			○	5.6年		学校の田んぼの計画、話し合う
5月	稲作活動	○	○	○	全学年		田植え(2時間)
	ヒメマス放流	○	○	○	全学年	行事	沼沢湖に行き放流 2時間
	稲作活動(田植え)	○	○	○	全学年	創意・総合	旧横田小学校横の田んぼで実施 2時間
	運動会	○	○	○	全校生		1日
	プール清掃	○	○	○	全校生		
6月	プール開き	○	○	○	全校生		
	体力テスト	○	○	○	全校生		
	昔語りを聞く会	○	○	○	全校生	創意	1時間(創意)
	特老訪問	○	○	○	全校生	創意・総合	横田ディサービス訪問(3.4年)金山ホーム(全学年)
	見学学習	○	○		1~4年	行事	
	宿泊学習			○	5.6年	行事	
	チューリップの球根掘り・土耕し・花苗植え	○	○	○	全校生	緑化活動	
7月	七夕集会	○	○	○	全学年	児童会	1時間
	交流学習(水泳 三島小・昭和町)			○	5.6年	学習交流	かねやま小プール
	西部三町村水泳記録会			○	5.6年	学習交流	かねやま小プール
	金山町の自然に親しもう	○	○	○	全学年		沼沢惣山登山
9月	稲作活動(稲刈り)	○	○	○	全学年	創意・総合	稲刈り(2時間)
	学習交流会(三島小と昭和小)	○			1.2年	学習交流	かねやま小
	陸上交流会(三島小と昭和小)	○		○	5.6年	学習交流	かねやま小校庭
	金山ホーム訪問	○	○	○	全学年	創意・総合	鼓笛パレードの中で訪問する
	鼓笛パレード	○	○	○	全学年	行事	行事で4時間
	ファミリーシアター	○	○	○	全学年	行事	
10月	学習交流会(三島小と昭和小)		○		3.4年	交流学習	昭和小学校
	祖父母学級	○	○	○	全学年	生活・総合	
	稲作活動(脱穀)			○	5.6年	生活・総合	脱穀(2時間)
	持久走記録会	○	○	○	全学年	行事	
	つくってあそぼう	○			1.2年	森林環境	大竹製材所見学と木工体験
	稲作活動(稲作活動のスライド発表・収穫物展示)	○	○	○		創意・総合	稲作活動のスライド発表・収穫物展示(4時間)
11月	かね小フェスティバル	○	○	○	全学年	行事	
	花苗抜き 土耕し					緑化活動	
	チューリップの球根・花苗植え					緑化活動	
	川口保育所訪問	○			1.2年	体験交流	訪問の準備(2時間)川口保育所(2時間)訪問のまとめ(2時間)
	昔語りを聞く会	○	○	○	全校生	創意	1時間(創意)
	一枚の板から			○	5.6年	森林環境	図画工作科
12月	トントン どんどん くぎうって		○		3.4年	森林環境	図画工作科
	クリスマス集会	○	○	○	全学年	行事	1時間
1月	スキー教室①	○	○	○	全学年	体育	1日
	スキー教室②	○	○	○	全学年	体育	1日
2月	スキー教室③・記録会	○	○	○	全学年	行事	1日
	雪遊び集会	○	○	○	全学年	行事	1日
	なわとび集会	○	○	○	全学年	児童会	
	豆まき集会			○	5.6年	行事	朝の時間
	保育所との交流会	○			1.2年	体験交流	
	雪遊び集会		○		3.4年	行事	
	新入生説明会	○			1.2年	かねやま小	
3月	6年生を送る会	○	○	○	4.5年	行事	2時間
通年	金山ファーム栽培活動	○	○	○	全学年	生活・総合	各学年の計画(畑耕し・苗植え・種まき・草取り・水まき・取り入れ)